

6月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 0.0km～7.0km
			管轄出張所:安城出張所
実施日	令和 6年 6月 5・6・11・21日	実施区間	矢作川 上塚橋～河口付近
環境			
  			
右岸側の河口部の焼け跡もかなり植物が復活してきた。チガヤ、オニグルミも勢いよく成長している。			
   			
2024年の様子 2024年の様子 2023年の様子 2023年の様子			
希少種となってしまったキキョウを今年も確認することができたが、オニユリとヤブカンゾウは見つかっていない。			
 			
鹿乗川の工事区間の法面の草が(除草剤?) 5月は茶色に枯れていたが6月には緑に戻って来た。 この周辺では最もオオキンケイギクが多い区間であるが、この先どうなるのか興味深い。 また、アマドコロ・ハタザオなど碧南・西尾周辺ではここしかない植物がこうして消えてゆくのかかもしれない。			
  			
特定外来の注意勧告看板。 オオキンケイギクの駆除 オオキンケイギクと共に特定外来に指定されているハルシャギク			
 			
左岸側の河口部 左岸側のオオキンケイギク			
右岸側に特定外来生物の注意看板が設置されていた。 碧南市は、ボランティアなどによる駆除が行われており、減少傾向にある。 しかし、左岸側河口部では、急激にオオキンケイギクが増殖し始めているのが気がかりである。			
河川愛護モニター			

6月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 0.0km～7.0km 管轄出張所:安城出張所
実施日	令和 6年 6月 5・6・11・21日	実施区間	矢作川 上塚橋～河口付近

不法投棄など



不法投棄ではなく漂着したものと思われる。(右岸河口部)



個人的なゴミというよりは、産業廃棄物と思われる、農業・漁業などの廃棄物が目立つような気がする。

5月の報告でも書いたが、ここ数ヶ月不法投棄は減少したように思う。

まだまだ、完全になくならないのは残念であるが、注意喚起やボランティアなどの効果があるような気がする。最近、ゴミ袋を持って土手歩きをしている方を時々見かけるようになった。碧南海浜水族館では市民と企業ボランティアと共に河川敷のゴミ拾いと生き物観察会をしているが、国土交通省も何かアクションを起こすと不法投棄防止につながるのではないだろうか。



左岸側 1.2-1.4k



左岸側 1.4-1.6k



左岸側 2.0k周辺

6月は、右岸側では不法投棄が見られなかった。

左岸側も小さなごみは数か所みられたが、大きな不法投棄が見られなかった(国交省さんの回収後だったかな?)



毎日、巡回されているので既に国交省さんは把握しておられると思うが上塚～中畑橋(右岸)のポールが一本倒れていたしたので報告します。